



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL https://www.fuji.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部长 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から代表取締役会長による決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	140,967	9.2	19,571	△15.3	20,119	△14.2	14,963	△11.2
2019年3月期	129,104	7.6	23,106	1.2	23,454	△0.4	16,855	△3.8

(注) 包括利益 2020年3月期 10,294百万円 (△28.1%) 2019年3月期 14,323百万円 (△31.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	163.81	155.22	9.1	10.2	13.9
2019年3月期	184.52	174.98	10.8	12.4	17.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	198,504	167,939	84.4	1,834.76
2019年3月期	194,366	161,624	83.1	1,767.30

(参考) 自己資本 2020年3月期 167,595百万円 2019年3月期 161,434百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	22,560	△5,100	△3,993	43,907
2019年3月期	4,186	△28,458	△4,111	30,852

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	4,567	27.1	2.9
2020年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	4,567	30.5	2.8
2021年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		39.7	

(注) 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭
 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	△21.1	5,300	△52.8	5,700	△49.8	4,100	△52.8	44.88
通期	112,000	△20.5	9,000	△54.0	9,700	△51.8	6,900	△53.9	75.54

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	97,823,748株	2019年3月期	97,823,748株
2020年3月期	6,479,108株	2019年3月期	6,478,764株
2020年3月期	91,344,833株	2019年3月期	91,345,493株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	115,738	2.5	15,052	△24.5	15,552	△23.7	11,359	△23.8
2019年3月期	112,934	3.5	19,931	△1.2	20,381	△1.0	14,915	△5.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	124.35	117.82
2019年3月期	163.28	154.83

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	159,855		138,179		86.4		1,512.73	
2019年3月期	160,648		134,058		83.4		1,467.61	

(参考) 自己資本 2020年3月期 138,179百万円 2019年3月期 134,058百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	48,500	△19.3	5,300	△37.1	3,900	△36.3	42.70	
通期	93,000	△19.6	8,800	△43.4	6,400	△43.7	70.06	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載いたします。また、本決算に関する説明動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(連結損益計算書)	9
(連結包括利益計算書)	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結の範囲の変更)	14
(表示方法の変更)	14
(連結株主資本等変動計算書関係)	15
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	16
(セグメント情報)	17
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
5. 個別財務諸表	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23
6. その他	25
(1) 役員の異動	25
(2) 受注及び販売の状況	25
(3) 地域に関する情報	26

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出の低迷を背景に景気に足踏み感が見られておりましたが、今年に入ってから、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響から経済活動が停滞し、企業業績の悪化懸念から設備投資に対する慎重な姿勢が見られました。世界経済においても、米中貿易摩擦の激化に加え新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、景気の減速感が一段と強まり、製造業の設備投資は伸び悩みました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。主力の電子部品実装ロボットや工作機械の分野でこれまで培ってきた自動化技術をさらに醸成させた独創的な製品の開発に取り組み、電子部品実装工程の全自動化を目指し世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエンドモデルNXTTRを発表しました。また、グループ会社間の連携による国内外の販売・技術サポート体制の強化やトータルソリューションの推進、顧客満足度の向上により、継続的なマーケットシェアの拡大に努めるとともに、IoTを活用したより効率的で無駄のない生産環境の整備と充実を進め、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は140,967百万円となり、前連結会計年度と比べて11,863百万円(9.2%)増加しました。これは主に、既存のロボットソリューション事業において売上を伸ばしたことに加え、2018年9月30日をみなし取得日としてファスフォードテクノロジー株式会社を連結の範囲に含めた影響によるものです。一方、価格競争の激化による売価下落等により、営業利益は19,571百万円と、前連結会計年度に比べて3,535百万円(15.3%)減少し、経常利益は20,119百万円と、前連結会計年度に比べて3,334百万円(14.2%)減少しました。また、特別利益として投資有価証券売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は14,963百万円となり、前連結会計年度と比べて1,891百万円(11.2%)減少しました。

なお、当社は、電子部品実装ロボットの市場規模が年々拡大しているインドにおいて、現地代理店のサポートを強化することで顧客満足度を向上させ、さらなる拡販を推し進めるため、2019年12月19日付でフジ インディア コーポレーション プライベート リミテッドを設立しました。また、今後需要の拡大が見込まれるリニアモータの製造子会社として、2020年2月13日付でF U J I リニア株式会社を設立しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

中国・アジア向けのスマートフォン及び次世代通信規格5G関連向け設備が引き続き堅調に推移しました。一方、従前からの景気の不透明感に加え、新型コロナウイルスによる懸念から、欧米での設備投資は軟調に転じました。この結果、売上高は127,763百万円となり、前連結会計年度と比べて16,226百万円(14.5%)増加しました。一方、価格競争の激化等により、営業利益は23,353百万円となり、前連結会計年度と比べて1,663百万円(6.6%)減少しました。

マシンツール

米中貿易摩擦の激化による市場停滞に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による影響のため厳しい状況に直面し、主に北米、中国市場では販売台数が大きく減少しました。この結果、売上高は10,839百万円となり、前連結会計年度と比べて4,820百万円(30.8%)減少し、営業損益は636百万円の損失(前期：営業利益1,661百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は126,770百万円となり、前連結会計年度末から8,241百万円増加しました。これは主に有価証券が6,447百万円減少した一方、現金及び預金が13,076百万円増加したことによるものであります。固定資産は71,733百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,103百万円減少しました。これは主に株価下落等により投資有価証券が4,645百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、198,504百万円となり、前連結会計年度末から4,137百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は28,839百万円となり、前連結会計年度末から5,675百万円増加しました。これは主に設備関係未払金及び設備関係支払手形（いずれも流動負債のその他に含みます）が3,020百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が1,776百万円増加したほか、社債からの振替により1年内償還予定の社債が7,227百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,725百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,853百万円減少しました。これは主に社債から1年内償還予定の社債への振替によるものであります。

この結果、負債合計は、30,564百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,177百万円減少しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は167,939百万円となり、前連結会計年度末から6,315百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が14,963百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が4,110百万円減少したことと、投資有価証券の株価下落によりその他有価証券評価差額金が3,683百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.4%（前連結会計年度末は83.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から13,054百万円増加し43,907百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは22,560百万円の収入（前期：4,186百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益20,712百万円や減価償却費6,825百万円等のプラス要因が法人税等の支払額7,054百万円等のマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,100百万円の支出（前期：28,458百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出11,911百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,993百万円の支出（前期：4,111百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額4,109百万円等によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは次のとおりであります。

	第70期 2016年3月期	第71期 2017年3月期	第72期 2018年3月期	第73期 2019年3月期	第74期 2020年3月期
自己資本比率(%)	84.0	82.5	82.6	83.1	84.4
時価ベースの自己資本比率(%)	70.4	82.3	104.0	69.3	75.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	0.0	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	1,154.2	5,324.5	5,565.5	596.0	7,146.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当グループを取り巻く環境は、設備の自動化・省人化のニーズは高まっているものの、米中貿易摩擦の一段の激化、英国のEU離脱問題に加え、いまだ世界的な広がりを見せる新型コロナウイルスの経済への影響等もあり、先行きは非常に不透明であり、景気の底割れが懸念されます。

ロボットソリューション事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の終息後を視野に入れたサーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれますが、一方で競合他社との価格競争は引き続き激しいものと想定されます。こうした状況において、ハイエンドモデルNEXT Rの市場投入を推し進めるとともに、既存製品の競争力向上にも引き続き取り組み、さらなるマーケットシェアの拡大に努めてまいります。

マシンツール事業では米中貿易摩擦に続き、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、工作機械業界全体が厳しい状況で推移しております。工作機械市場は既に成熟した市場ではありますが、今後も自動化や効率化のための設備投資需要は見込まれます。自動車関連市場のみならず、新たな市場開拓に努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期連結累計期間	57,000	5,300	5,700	4,100
通期	112,000	9,000	9,700	6,900

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益分配に関する基本方針といたしましては、将来の事業展開に伴う資金需要に配慮しつつ、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、安定配当の維持に努めてまいります。

内部留保金は、デジタル革命を先取りした次世代型製品の開発や生産体制の構築等、さらなる成長・拡大のための積極的な投資に役立てるとともに、事業体質の改善・強化に充当する所存であります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い世界的な経済活動の停滞が長期化した場合、金融市場において信用収縮のリスクも懸念されることから、不測の事態に備えるために十分な手元流動性を確保することにも留意してまいります。

当期の期末配当金につきましては、利益分配に関する基本方針を踏まえ、1株につき30円にいたしたいと存じます。これにより、中間配当金20円を含めました当期の年間配当金は、1株につき50円を予定しております。

次期の配当金につきましては、次期の業績見通しを考慮し、中間配当金、期末配当金を各々1株につき15円とし、年間では30円とさせていただきます予定であります。

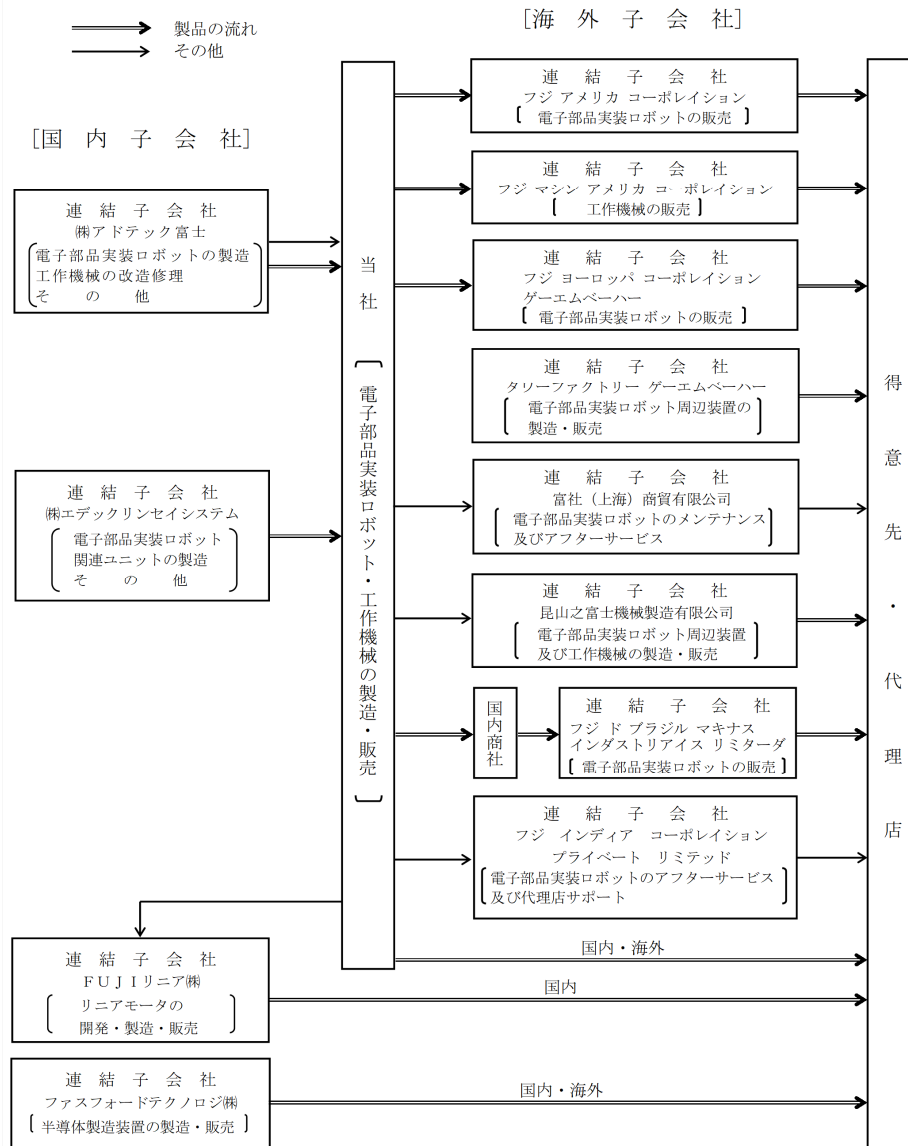
2. 企業集団の状況

当グループは、当社、子会社12社で構成され、電子部品実装ロボットならびに工作機械の製造販売を主業務として事業活動を展開しております。

当グループの事業に係わる位置づけとセグメントとの関連は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な製品	主な会社
ロボットソリューション	電子部品実装ロボット 半導体製造装置	当社、(株)アドテック富士、(株)エデックリンセイシステム ファスフォードテクノロジー(株) フジ アメリカ コーポレイション フジ ヨーロッパ コーポレイション ゲーエムベーパー タワーファクトリー ゲーエムベーパー 富社(上海)商貿有限公司 昆山之富士機械製造有限公司 フジ ドブラジル マキナス インダストリアイス リミターダ フジ インディア コーポレイション プライベート リミテッド
マシンツール	工作機械	当社、(株)アドテック富士 フジ マシン アメリカ コーポレイション 昆山之富士機械製造有限公司
その他	制御機器 電子機器 画像処理開発	(株)アドテック富士、(株)エデックリンセイシステム、F U J I リニア(株)

事業系統図（当社及び子会社）は次のとおりであります。



- (注) 1. 2019年12月19日付でフジ インディア コーポレイション プライベート リミテッドを新たに設立し、当連結会計年度より、同社を連結の範囲に含めております。
2. 2020年2月13日付でF U J I リニア(株)を新たに設立し、当連結会計年度より、同社を連結の範囲に含めております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来の国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、我が国における制度適用の状況を踏まえながら検討を進めていく考えであります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,755	43,831
受取手形及び売掛金	35,256	35,174
有価証券	6,711	263
商品及び製品	9,502	8,399
仕掛品	21,378	22,795
原材料及び貯蔵品	8,840	8,640
その他	6,117	7,690
貸倒引当金	△34	△27
流動資産合計	118,528	126,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,127	31,090
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,407	△17,109
建物及び構築物（純額）	9,719	13,981
機械装置及び運搬具	16,110	18,112
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,343	△13,055
機械装置及び運搬具（純額）	3,766	5,057
工具、器具及び備品	8,310	8,879
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,240	△7,758
工具、器具及び備品（純額）	1,069	1,120
土地	5,107	5,171
建設仮勘定	5,465	90
有形固定資産合計	25,128	25,421
無形固定資産		
のれん	13,796	12,844
ソフトウェア	6,089	7,090
その他	5,607	5,054
無形固定資産合計	25,492	24,990
投資その他の資産		
投資有価証券	24,030	19,384
繰延税金資産	769	1,551
その他	416	386
投資その他の資産合計	25,216	21,322
固定資産合計	75,837	71,733
資産合計	194,366	198,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,273	9,050
1年内償還予定の社債	—	7,227
未払法人税等	3,418	1,980
製品保証引当金	1,073	1,073
その他	11,398	9,508
流動負債合計	23,164	28,839
固定負債		
社債	7,234	—
繰延税金負債	1,720	1,330
退職給付に係る負債	577	338
その他	46	55
固定負債合計	9,578	1,725
負債合計	32,742	30,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,924	5,924
利益剰余金	146,928	157,781
自己株式	△7,781	△7,781
株主資本合計	150,951	161,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,867	5,184
繰延ヘッジ損益	11	15
為替換算調整勘定	1,721	961
退職給付に係る調整累計額	△117	△369
その他の包括利益累計額合計	10,482	5,791
非支配株主持分	190	343
純資産合計	161,624	167,939
負債純資産合計	194,366	198,504

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	129,104	140,967
売上原価	76,468	89,605
売上総利益	52,636	51,361
販売費及び一般管理費	29,530	31,790
営業利益	23,106	19,571
営業外収益		
受取利息	283	248
受取配当金	437	473
受取賃貸料	20	22
雑収入	181	126
営業外収益合計	922	870
営業外費用		
支払利息	△0	△4
支払手数料	178	7
為替差損	63	296
雑支出	333	22
営業外費用合計	574	322
経常利益	23,454	20,119
特別利益		
固定資産処分益	33	16
投資有価証券売却益	232	728
特別利益合計	265	745
特別損失		
固定資産処分損	175	152
減損損失	96	—
特別損失合計	272	152
税金等調整前当期純利益	23,447	20,712
法人税、住民税及び事業税	6,889	5,445
法人税等調整額	△313	272
法人税等合計	6,576	5,717
当期純利益	16,871	14,994
非支配株主に帰属する当期純利益	15	31
親会社株主に帰属する当期純利益	16,855	14,963

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	16,871	14,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,820	△3,683
繰延ヘッジ損益	11	4
為替換算調整勘定	343	△769
退職給付に係る調整額	△82	△251
その他の包括利益合計	△2,547	△4,700
包括利益	14,323	10,294
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,342	10,272
非支配株主に係る包括利益	△18	21

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,878	5,924	134,183	△7,779	138,207
当期変動額					
剰余金の配当			△4,110		△4,110
親会社株主に帰属する当期純利益			16,855		16,855
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	12,744	△1	12,743
当期末残高	5,878	5,924	146,928	△7,781	150,951

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,688	—	1,343	△35	12,995	208	151,412
当期変動額							
剰余金の配当							△4,110
親会社株主に帰属する当期純利益							16,855
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,820	11	378	△82	△2,513	△18	△2,531
当期変動額合計	△2,820	11	378	△82	△2,513	△18	10,211
当期末残高	8,867	11	1,721	△117	10,482	190	161,624

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,878	5,924	146,928	△7,781	150,951
当期変動額					
剰余金の配当			△4,110		△4,110
親会社株主に帰属する当期純利益			14,963		14,963
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	10,853	△0	10,852
当期末残高	5,878	5,924	157,781	△7,781	161,803

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,867	11	1,721	△117	10,482	190	161,624
当期変動額							
剰余金の配当							△4,110
親会社株主に帰属する当期純利益							14,963
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3,683	4	△760	△251	△4,691	153	△4,537
当期変動額合計	△3,683	4	△760	△251	△4,691	153	6,315
当期末残高	5,184	15	961	△369	5,791	343	167,939

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	23,447	20,712
減価償却費	6,066	6,825
減損損失	96	—
のれん償却額	475	951
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△64	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△449	△600
受取利息及び受取配当金	△720	△722
支払利息	△0	△4
固定資産処分損益 (△は益)	142	136
投資有価証券売却損益 (△は益)	△232	△728
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,401	△68
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,549	△476
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,045	2,024
その他	△2,640	406
小計	12,124	28,457
利息及び配当金の受取額	717	730
利息の支払額	△7	△3
保険金の受取額	—	429
法人税等の支払額	△8,648	△7,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,186	22,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△700	—
有価証券の償還による収入	3,200	6,600
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,351	△11,911
有形及び無形固定資産の売却による収入	83	95
投資有価証券の取得による支出	△1,280	△547
投資有価証券の売却による収入	417	779
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△21,716	—
定期預金の預入による支出	△72	△77
定期預金の払戻による収入	40	3
長期前払費用の取得による支出	△15	△21
その他	△64	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,458	△5,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△4,108	△4,109
非支配株主からの払込みによる収入	—	132
その他	△2	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,111	△3,993
現金及び現金同等物に係る換算差額	312	△411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,071	13,054
現金及び現金同等物の期首残高	58,923	30,852
現金及び現金同等物の期末残高	※ 30,852	※ 43,907

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当連結会計年度より、新たに設立いたしましたF U J I リニア株式会社、フジ インディア コーポレーション プライベート リミテッドの2社を連結の範囲に含めております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「寄付金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「雑支出」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「寄付金」に表示していた311百万円は、「雑支出」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「自己株式の取得による支出」に表示していた△1百万円は、「その他」として組み替えております。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数ならびに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数(千株)	当連結会計年度 増加株式数(千株)	当連結会計年度 減少株式数(千株)	当連結会計年度末 株式数(千株)
発行済株式				
普通株式	97,823	—	—	97,823
合計	97,823	—	—	97,823
自己株式				
普通株式(注)	6,477	0	—	6,478
合計	6,477	0	—	6,478

(注) 株式数の増加0千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,826	20.00	2018年3月31日	2018年6月29日
2018年11月8日 取締役会	普通株式	2,283	25.00	2018年9月30日	2018年12月10日

(注) 2018年11月8日取締役会決議の1株当たり配当額25円00銭には、創立60周年記念配当5円00銭が含まれております。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,283	利益剰余金	25.00	2019年3月31日	2019年6月28日

(注) 1株当たり配当額25円00銭には、創立60周年記念配当5円00銭が含まれております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数ならびに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数(千株)	当連結会計年度 増加株式数(千株)	当連結会計年度 減少株式数(千株)	当連結会計年度末 株式数(千株)
発行済株式				
普通株式	97,823	—	—	97,823
合計	97,823	—	—	97,823
自己株式				
普通株式(注)	6,478	0	—	6,479
合計	6,478	0	—	6,479

(注) 株式数の増加0千株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,283	25.00	2019年3月31日	2019年6月28日
2019年11月8日 取締役会	普通株式	1,826	20.00	2019年9月30日	2019年12月9日

(注) 2019年6月27日定時株主総会決議の1株当たり配当額25円00銭には、創立60周年記念配当5円00銭が含まれております。

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	2,740	利益剰余金	30.00	2020年3月31日	2020年6月29日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
現金及び預金勘定	30,755百万円	43,831百万円
有価証券勘定(譲渡性預金)	211	263
預入期間が3か月を超える定期預金	△114	△188
現金及び現金同等物	30,852	43,907

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、当社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、ロボットソリューション事業及びマシンツール事業の2つを報告セグメントとしております。

ロボットソリューション事業は、主に電子部品実装ロボットを生産しております。マシンツール事業は、主に工作機械を生産しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	111,536	15,660	127,196	1,907	129,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	1	47	70	117
計	111,582	15,662	127,244	1,978	129,222
セグメント利益又は損失(△)	25,017	1,661	26,678	△88	26,590
セグメント資産	123,952	20,230	144,182	2,250	146,433
その他の項目					
減価償却費	5,470	366	5,837	89	5,926
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	7,305	3,685	10,991	90	11,081

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	127,763	10,839	138,602	2,364	140,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	—	10	124	134
計	127,773	10,839	138,613	2,489	141,102
セグメント利益又は損失(△)	23,353	△636	22,716	△0	22,716
セグメント資産	130,144	15,689	145,833	3,034	148,867
その他の項目					
減価償却費	5,987	631	6,618	74	6,693
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	7,441	843	8,284	98	8,383

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	26,678	22,716
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△88	△0
セグメント間取引消去	4	4
全社費用(注)	△3,488	△3,148
連結財務諸表の営業利益	23,106	19,571

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	144,182	145,833
「その他」の区分の資産	2,250	3,034
セグメント間取引消去	△7	△27
全社資産(注)	47,941	49,664
連結財務諸表の資産合計	194,366	198,504

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金預金）、長期投資資金（投資有価証券）、技術研究及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	5,837	6,618	89	74	139	131	6,066	6,825
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	10,991	8,284	90	98	141	258	11,223	8,641

(注) 調整額は技術研究及び管理部門に係るものであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,767.30円	1,834.76円
1株当たり当期純利益	184.52円	163.81円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	174.98円	155.22円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	16,855	14,963
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円)	16,855	14,963
期中平均株式数(株)	91,345,493	91,344,833
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	△5	△5
(うち支払利息(税額相当額控除後) (百万円))	(△5)	(△5)
普通株式増加数(株)	4,951,989	5,026,105
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(4,951,989)	(5,026,105)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,462	23,267
受取手形	2,924	909
売掛金	30,511	28,747
有価証券	6,100	—
商品及び製品	2,682	2,987
仕掛品	18,400	18,408
原材料及び貯蔵品	7,099	7,138
その他	6,793	7,866
流動資産合計	86,974	89,324
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,731	8,382
構築物	1,013	1,869
機械及び装置	3,238	4,531
車両運搬具	17	64
工具、器具及び備品	743	705
土地	3,591	3,590
建設仮勘定	5,368	2
有形固定資産合計	19,704	19,146
無形固定資産		
ソフトウェア	5,808	6,547
その他	19	20
無形固定資産合計	5,828	6,567
投資その他の資産		
投資有価証券	22,536	18,451
関係会社株式	23,736	24,004
出資金	4	4
関係会社出資金	1,745	1,756
前払年金費用	—	491
その他	119	109
投資その他の資産合計	48,142	44,817
固定資産合計	73,674	70,531
資産合計	160,648	159,855

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,076	6,766
1年内償還予定の社債	—	7,227
未払金	2,143	421
未払法人税等	2,688	1,385
未払費用	3,371	3,279
製品保証引当金	907	875
その他	2,633	1,428
流動負債合計	17,821	21,383
固定負債		
社債	7,234	—
繰延税金負債	1,327	266
退職給付引当金	182	—
その他	24	25
固定負債合計	8,769	292
負債合計	26,590	21,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金		
資本準備金	5,413	5,413
その他資本剰余金	511	511
資本剰余金合計	5,924	5,924
利益剰余金		
利益準備金	1,450	1,450
その他利益剰余金		
別途積立金	54,900	54,900
繰越利益剰余金	65,373	72,622
利益剰余金合計	121,723	128,972
自己株式	△7,781	△7,781
株主資本合計	125,746	132,994
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,311	5,185
評価・換算差額等合計	8,311	5,185
純資産合計	134,058	138,179
負債純資産合計	160,648	159,855

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	112,934	115,738
売上原価	71,462	78,742
売上総利益	41,471	36,996
販売費及び一般管理費	21,539	21,944
営業利益	19,931	15,052
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	572	643
雑収入	207	119
営業外収益合計	780	763
営業外費用		
支払利息	△4	△7
雑支出	335	270
営業外費用合計	330	263
経常利益	20,381	15,552
特別利益		
固定資産処分益	23	9
投資有価証券売却益	232	—
特別利益合計	255	9
特別損失		
固定資産処分損	170	117
関係会社出資金評価損	—	38
特別損失合計	170	156
税引前当期純利益	20,467	15,405
法人税、住民税及び事業税	5,454	3,950
法人税等調整額	97	96
法人税等合計	5,551	4,046
当期純利益	14,915	11,359

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	5,878	5,413	511	5,924	1,450	54,900	54,569	110,919	△7,779	114,943
当期変動額										
剰余金の配当							△4,110	△4,110		△4,110
当期純利益							14,915	14,915		14,915
自己株式の取得									△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	10,804	10,804	△1	10,802
当期末残高	5,878	5,413	511	5,924	1,450	54,900	65,373	121,723	△7,781	125,746

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	11,436	11,436	126,379
当期変動額			
剰余金の配当			△4,110
当期純利益			14,915
自己株式の取得			△1
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△3,124	△3,124	△3,124
当期変動額合計	△3,124	△3,124	7,678
当期末残高	8,311	8,311	134,058

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	5,878	5,413	511	5,924	1,450	54,900	65,373	121,723	△7,781	125,746
当期変動額										
剰余金の配当							△4,110	△4,110		△4,110
当期純利益							11,359	11,359		11,359
自己株式の取得									△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	7,248	7,248	△0	7,248
当期末残高	5,878	5,413	511	5,924	1,450	54,900	72,622	128,972	△7,781	132,994

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	8,311	8,311	134,058
当期変動額			
剰余金の配当			△4,110
当期純利益			11,359
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,126	△3,126	△3,126
当期変動額合計	△3,126	△3,126	4,121
当期末残高	5,185	5,185	138,179

6. その他

(1) 役員の異動

役員の異動に関しましては、本日公表の「役員の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 受注及び販売の状況

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	107,632	86.6	111,536	86.4	17,682	67.2
マシンツール	14,865	12.0	15,660	12.1	8,449	32.1
その他	1,756	1.4	1,907	1.5	170	0.7
合計	124,254	100.0	129,104	100.0	26,302	100.0

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	136,585	93.0	127,763	90.6	26,504	82.4
マシンツール	7,723	5.3	10,839	7.7	5,333	16.6
その他	2,507	1.7	2,364	1.7	313	1.0
合計	146,815	100.0	140,967	100.0	32,150	100.0

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション (うち輸出高)	96,175 (89,372)	88.3 (82.1)	100,032 (92,128)	88.6 (81.6)	11,700 (10,302)	61.5 (54.1)
マシンツール (うち輸出高)	12,724 (6,385)	11.7 (5.8)	12,901 (7,660)	11.4 (6.8)	7,339 (3,309)	38.5 (17.4)
合計 (うち輸出高)	108,900 (95,758)	100.0 (87.9)	112,934 (99,789)	100.0 (88.4)	19,040 (13,611)	100.0 (71.5)

当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション (うち輸出高)	112,637 (105,955)	95.1 (89.4)	106,792 (100,169)	92.3 (86.6)	17,545 (16,088)	80.5 (73.8)
マシンツール (うち輸出高)	5,857 (2,306)	4.9 (2.0)	8,945 (3,709)	7.7 (3.2)	4,250 (1,905)	19.5 (8.8)
合計 (うち輸出高)	118,494 (108,261)	100.0 (91.4)	115,738 (103,878)	100.0 (89.8)	21,795 (17,994)	100.0 (82.6)

(3) 地域に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	15,359	49,094	26,968	14,523	6,205	15,467	1,485	129,104
構成比(%)	11.9	38.0	20.9	11.2	4.8	12.0	1.2	100.0

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	14,779	64,393	32,726	9,020	4,323	13,837	1,886	140,967
構成比(%)	10.5	45.7	23.2	6.4	3.1	9.8	1.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2020年3月期 連結決算発表

2020年5月12日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	57,000	△21.1	5,300	△52.8	5,700	△49.8	4,100	△52.8
通期	112,000	△20.5	9,000	△54.0	9,700	△51.8	6,900	△53.9

(注) %表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率であります。

2. 過去6年間の連結売上高・収益の実績推移

(百万円未満切捨)

期別	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2020年3月期	140,967	19,571	20,119	14,963
2019年3月期	129,104	23,106	23,454	16,855
2018年3月期	120,032	22,827	23,538	17,523
2017年3月期	86,397	9,794	10,200	7,054
2016年3月期	86,642	11,901	11,991	7,237
2015年3月期	85,265	12,066	13,026	8,629

3. 2021年3月期の連結受注高・売上高の予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間	通期	第2四半期連結累計期間	通期
ロボットソリューション	48,000	99,000	52,000	101,000
マシ ン ツ ー ル	4,000	9,000	4,000	9,000
そ の 他	1,000	2,000	1,000	2,000
合 計	53,000	110,000	57,000	112,000

4. 2021年3月期の主な科目の連結予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（百万円未満切捨）

科目	2020年3月期（実績）		2021年3月期（予想）	
	第2四半期 連結累計期間	通期	第2四半期 連結累計期間	通期
設備投資額	3,935	8,641	4,900	8,900
減価償却実施額	3,319	6,825	3,500	7,300
研究開発費	4,245	8,803	4,400	8,800

参考資料

2020年3月期 個別決算発表

2020年5月12日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期累計期間	48,500	△19.3	4,800	△42.1	5,300	△37.1	3,900	△36.3
通期	93,000	△19.6	8,000	△46.9	8,800	△43.4	6,400	△43.7

(注) %表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率であります。

2. 過去6年間の売上高・収益の実績推移

(百万円未満切捨)

期別	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2020年3月期	115,738	15,052	15,552	11,359
2019年3月期	112,934	19,931	20,381	14,915
2018年3月期	109,154	20,182	20,594	15,701
2017年3月期	78,860	8,922	9,215	6,430
2016年3月期	77,382	10,001	10,131	5,802
2015年3月期	78,855	11,329	12,300	8,138

3. 2021年3月期の受注高・売上高の予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期
ロボットソリューション	41,000	83,500	45,000	85,500
マシントール	3,500	7,500	3,500	7,500
合計	44,500	91,000	48,500	93,000

4. 2021年3月期の主な科目の予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (予想)	
	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期
設備投資額	3,341	6,605	4,400	8,000
減価償却実施額	2,690	5,536	2,900	6,000
研究開発費	3,845	7,863	3,800	7,600